

# 企業の郵便物を自動仕分け

## 協働ロボとAI搭載3Dカメラ活用

### 高島ロボットマーケティング

近年、慢性的な人手不足に加え、長引くコロナ禍により生産現場やオフィスなどでもソーシャルディスタンスの必要性が問われる中、人による手作業をロボットに代替させる動きが急速に加速し

ており、特に注目を浴びているのが「協働ロボット」だ。これまでは工場への導入が中心だったが、少子高齢化による人手不足やコロナ禍でのリモートワークの拡大により、オフ

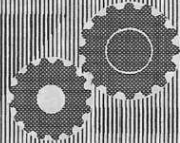
イスにおいても協働ロボットの導入が注目され始めている。その要因の一つとして、デジタル化が進んだ今でも企業に毎日大量に届く郵便物の存在がある。郵便物の多くは担当者

食品新聞  
専門版

令和4年  
1月26日  
第587号

食品関連

機械  
資材版



これを任せ、協働ロボットのレンタル、販売および導入支援サービスを展開する高島ロボットマーケティング(以下TRM、TEL0120-9051230)とAIコンピュータリングカンパニーのデジタルメディアアプロフェッショナル(以下DMP)は、オフィス内の省人・省力化を目的とする、協働ロボッ

トとAI搭載3Dカメラを活用した「郵便物自動仕分けシステム」を共同開発し、提供を開始する。

同システムは、TRM取り扱いのユニバーサルロボット製協働ロボットと、DMPの協働ロボット向け画像認識システム「Cambrion」3DビジョンシステムおよびAI文字認識ソフトウェアがコラボ。

郵便物の形状、表面上に印字された文字、コードおよび企業ロゴなどを、AI搭載のCambrionビジョンシステムが高速スキャンして自動判定し、協働ロボットが郵便物を吸着し、指定されたトレイに仕分けする。設置スペースが少なく、協働ロボット本体・周辺機器はレンタルも可能で、事務作業の省人・省力化を推進する

ものである。今後もTRMは、短期間でも利用可能なレンタルサービスと、導入コストを大幅に軽減するソリューションパッケージの二つの事業展開で、協働ロボットをより身近で使いやすい商品としてユーザーに提案を行う。簡単、気軽に協働ロボットを使ってもらうための商品やサービスの拡充を進めていく。